

2025年8月20日

各 位

会 社 名 株式会社リプロセル  
代表者名 代表取締役社長 横山 周史  
(コード番号：4978、東証グロース市場)  
問 合 せ 先 経営管理部 山根 幸司  
ジェネラルマネージャー  
(TEL. 045-475-3887)

## 個別化がん免疫療法を加速する「ネオアンチゲン検出サービス“ネオサイト”」開始のお知らせ

当社は、がんの個別化医療の実現を加速させる「ネオアンチゲン検出サービス“ネオサイト”」の提供を開始いたしますので、お知らせいたします。

「ネオサイト」は、患者一人ひとりのがん組織の遺伝子情報を詳しく解析し、患者特有のがん細胞の目印（ネオアンチゲン）を特定するサービスです。本サービスでは、お客様から提供いただく検体（腫瘍組織や血液等）のDNAおよびRNAを解析し、患者特有の変異の同定・発現確認・HLA型に基づくMHC結合性予測まで一気通貫で実施します。これらの解析結果は、個別化がんワクチンやT細胞受容体（TCR）治療等の研究・橋渡し研究および臨床開発の設計に活用いただけます。

近年、がん免疫療法はがん治療で幅広く使用されるようとなりましたが、一部の患者では十分な効果が得られないという課題があります。その一因は、従来法では患者ごとに異なる特異的な標的を同定しきれない点にあります。これを克服する鍵が、腫瘍の遺伝子変異に由来する患者固有の標的「ネオアンチゲン」です。ネオアンチゲンは、免疫細胞に腫瘍のみを正確に認識・攻撃させる理想的な標的であり、その活用により治療効果の一層の向上が期待されます。

一方で、患者ごとに異なるネオアンチゲンを正確に特定するには、高度な解析技術と専門知識が不可欠で、個別化がん免疫療法の開発における課題となっています。当社は、NGS・免疫遺伝学・がん診断の領域で長年培ってきた知見を活かして、これらの課題を解決し、個別化がん免疫療法の研究・開発・実装をワンストップで支援します。

本件が当社の業績に与える直接的な影響は軽微と見込んでおりますが、今後、重要な影響を及ぼす事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

### 語句説明

#### ネオアンチゲン

がん特異的な遺伝子変異から生じる新規ペプチド抗原です。患者ごとに配列が異なり、免疫細胞が、がんを認識・排除する際の目印となります。個別化がんワクチンやTCR療法の標的で、免疫チェックポイント阻害薬の効果にも関与します。

#### がん免疫療法

患者自身の免疫を活性化してがんを攻撃させる治療です。免疫チェックポイント阻害薬、CAR-T/TCR、がんワクチンが代表的な治療です。併用療法や個別化医療としての研究も活発に行われています。

#### 個別化医療（オーダーメイド医療）

患者さん一人ひとりの体質や病気のタイプに合わせて、最適な治療法を選択・実施することです。遺伝子情報などを基に、より効果的で副作用の少ない治療を目指します。

以上